

製品名: CD62E マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82600**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	66.7kDa

抗原情報

遺伝子名	CD62E
別名	ELAM; ESEL; SELE; ELAM1; LECAM2
遺伝子 ID	6401.0
SwissProt ID	P16581
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD62E (AA: extra(22-162)) の精製組換え断片。

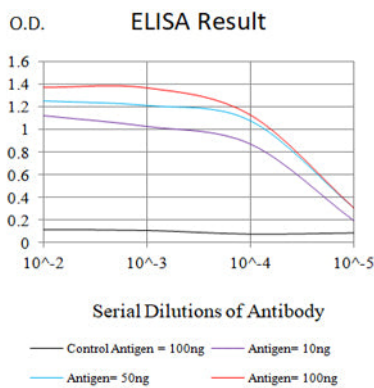
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイトカイン刺激を受けた内皮細胞に存在し、血管内層への細胞接着を媒介することで、炎症部位における白血球の集積に関与すると考えられています。このタンパク質は、レクチン様ドメインおよび EGF 様ドメイン

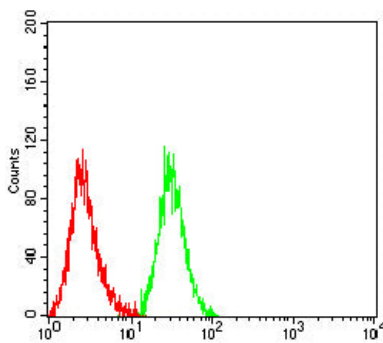
ンに続き、6つの保存されたシステイン残基を含むショートコンセンサスリピート (SCR) ドメインを有するなどの構造的特徴を示します。これらのタンパク質は、細胞接着分子であるセレクトインファミリーに属します。接着分子は白血球と内皮細胞の相互作用に関与し、アテローム性動脈硬化症の病因に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD62E マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。